

英, 独, 仏] は, もはや他言語臭をもたない。「セツ氏, カ氏, 超ド級」は, 元が「摂氏・華氏・超弩級」であるが, その漢字が「セルシウス, ファーレンハイト, ドレッドノート」がむすびつくという人も, もはやおおくはないであろう。

仮名・漢字によって日本語らしい姿をみせていれば, さして違和感なくうけいれられたものか。英語“A, B, and C”は, 日本語に翻訳したときには「A, B, C」「A および B および C」「A と B と C」のようでよかったとおもわれるが, 文字どおりの翻訳である「A, B, および C」が当然のようにおこなわれている。そこにだれも違和感はないか。「注意を払う」が英語“pay attention”に由来するとすれば, はじめて接した人は違和感がなかったか。

転石, 苔を生ぜず。 — A rolling stone gathers no moss.

生くべきか死すべきか, それが問題だ。

— To be, or not to be : that is the question.

そしてだれもいなくなった。 — And then there were none.

我思う, 故に我在り。 — Cogito, ergo sum.

ツァラトウストラかく語りき。 — Also sprach Zarathustra.

秋の日のギョロンのためいきの身にしみてひたぶるにうら悲し。

— Les sanglots longs des violons de l'automne

blesent mon coeur d'une langueur monotone.

日本語以外のなものでもないように人口に膾炙している, こうした表現も, はじめは, 他言語そのもののようにうけとられたことがあったのではなかろうかと, 想像する。

*

ちかごろの雑誌の名をあげる。

dancyu [ダンチュウ] (1990年創刊, プレジデント社。命名は「男子厨房に入る」)

ku:nel [クウネル] (2002年創刊, マガジンハウス。命名は「食う寝る」)

日本語を伏在させてラテン文字によった, 他言語もどきである。他言語がどこの言語であるかはとわれない。他言語が日本語の姿をみせながら日本語のなかにはいりこんでいる反面で, このように日本語が他言語をよそおいもする。

日本語は, 他言語とからみあいながらいきつづけている。

うこともあり、「厦門」は片仮名表記のこともある。「厦門」は現地読みをするならば「シアメン」であり、漢字表記と読みとの距離がおおきい。また、「上海」も英語‘Shang Hai’によるかもしれない。英語としたものも、他の西欧語であることは十分にありうる。それら欧米諸言語の原には、たちいる余裕がない。さて、これらの事例は、日本語のうちにすでにはいりこんでしまっている、漢字表記の外来語ということになるであろう。

平壤（ピョンヤン、へいじょう）

これは高麗語であるが、漢語「台北」に準ずる。

中国の地名には、仮名でしるすのが普通であるとおもわれるものもある。

ハルビン（哈爾濱） フフホト（呼和浩特） ウルムチ（烏魯木齊）

タクラマカン（塔克拉瑪干） 砂漠

これらは、漢語にとっても他言語であったであろうし、日本語にとっては、漢語あるいは別の他言語の色彩をいまだにおびているようである。日本語にとって外来語であるといわれれば、反証をもたないが、漢字表記が常であるものにくらべて、他言語にかたむいている感がつきまとう。

高麗語の地名「ソウル」は、かつて漢字表記「京城」およびその読み「けいじょう」をもっていたが、漢字表記とこの「ソウル」の音とにつながりがないために、仮名表記が定着しているといつてよい。

5

麻雀用語は、おおむね漢字表記・現代漢語音によっている。そのようなものに対して、中国茶の名は、表記と読みとの関係がいくつかある。

鉄観音（てっかんのん）茶 烏龍（ウーロン）茶 プーアル（普洱）茶

日本での漢字のなじみぐあいによって、漢字表記されたり、現代漢語音でよまれたり、しているかとおもわれる。すなわち、漢字が日本でも常用されているならば漢字表記・借用漢字音であり、そうでないならば仮名表記・現代漢語音であって、中間的なものもあることになる。料理の名称である「ヤム（飲）茶」は、漢字表記から予想される読み「いんちゃ」をさけるためか、仮名表記がおおいようにみえる。仮名表記がおこなわれているほうが、地名と同様に、他言語の色彩がこい。しかし、この茶の場合は、おそらく「烏龍茶」がもっとも日本人になじみ、日本語へのはいりかたがふかい。

他言語が日本語のうちにはいりこんでくるときには、漢字・仮名表記をうけることが、日本語らしさをます条件であったかもしれない。明治期までに漢字表記を定着させてしまい、その漢字が昭和後期に当用漢字表・常用漢字表にのこった、たとえば国名「米、

ある。全文を借用漢字音で読まばあいには、音の上で古代漢語にも現代漢語にもしたがっているわけではなく、しかし、語法・語順などから、日本語ではない他言語、いわばピジンの漢語である。しかも、そのうちの呪などは、サンスクリットの音訳であり、さらに他言語臭がつよくなっている。

ちかごろのものでは、「電腦（でんのう）」がある。漢字表記が現代漢語に由来することはいがいがいがしないが、読みを「ディエンナオ」のようにすることは一般にはないであろう。この読みのために、「電腦」は借用漢語であると理解するのが適当であるが、外来語「コンピュータ」や借用漢語（日本漢語）「電子計算機」にくらべて、なお漢語そのものであるという感覚ものこる。

ついでながら、「電視台」は、漢字表記にはやはり漢語そのものであるという感覚があるが、テレビ番組の標題

痛快！明石家電視台 (1996-年，毎日放送＝本社大阪)

では、読みを外来語「テレビ」によっている。この表記と読みとの関係は、外来語による熟字訓「煙草（タバコ）」「麦酒（ビール）」にちかいものがあるが、「電視台」の漢字表記はまだ日本語に十分にはなじんでいないようにおもわれる。

漢字で表記される他言語として、高麗語の可能性がある。しかし、高麗語は、語源は漢語であっても、高麗語音で読むために、日本では仮名で表記されるのが普通になった。ちかごろの「韓流（ハンリゅう）」の漢字表記は、いちじるしい例外であって、漢語に由来しているかもしれない。その韓流をささえる俳優の名は、通例にしたがって「ヨン様」のように仮名表記であり、その俳優「ペ・ヨンジュン」の漢字表記「裴勇俊」はおそらくほとんどおこなわれない。

*

呉音・漢音などの伝統的な読みによらないものは、他言語にちかいかもしれない。しかし、その読みの源がかならずしもわかりやすくはなく、どのような他言語であるかという問題をかかえることがある。

青島（チンタオ）・上海（シャンハイ）・台北（タイペイ）

——現代漢語による。

北京（ペキン）・南京（ナンキン）

——唐音による。または、英語‘PeKing, NanKing’による。

香港（ホンコン）・広東（カントン）・厦門（アモイ）

——英語‘HongKong, CanTon, AMoy’による。

事例として、地名をあげた。（ ）内が通常の読みである。「台北」は「たいほく」とい

君だけに — Only you / 君だけに (少年隊, 1987年7月6日)

キスを止めないで — DON'T STOP KISS / キスを止めないで
(小泉今日子, 1987年11月2日)

涙をみせないで — don't cry (Wink, 1989年3月21日)

虹をみたい — Have you ever seen the Rainbow / 虹をみたい
(渡辺美里, 1989年10月30日)

クリスマス・イブ — Silent Night, Holy Night / クリスマス・イブ
(山下達郎, 1989年12月25日)

サイレント・イヴ — Silent Night (辛島美登里, 1990年11月26日)

曲名がアルファベット表記の英語であるが、歌詞では片仮名表記である、という、逆のものもある。

YOUNG MAN — ヤングマン (西城秀樹, 1979年3月12日)

SOLITUDE — ソリチュード (中森明菜, 1985年10月21日)

Mationette — マリオネット / Matrionette (BOOY, 1987年8月3日)

Diamonds — ダイヤモンド (プリンセス・プリンセス, 1989年6月12日)

ZERO — ゼロ (B'z, 1992年10月19日)

しかし、こちらでは、外来語を原語の綴りによってしめして曲名としたという感がある。

Jポップスの歌詞において、他言語ないしアルファベット表記がどのようにいきているか、という問題は、本稿の目標にそぐわないのでたちいらず、別にあらためてとりあげるのが適当であるとかんがえる。

4

今日の日本語にとっての漢語(中国語)を、かえりみたい。現代漢語、たとえば人名「毛沢東」は、日本語の語種としては、日本漢字音によって「モウタクトウ」であるならば借用漢語(語種としての漢語)であり、現代漢語によって「マオツェドン」であるならば外来語である。「マオツェドン」は、あるいは他言語そのものであって、語種の概念はおよばない。しかし、他言語としての漢語が、いかにも他言語らしく存在しうるかどうかは、わからない。ここでは、問題一二をわずかにふりかえって、漢語が日本語にはいりこむ過程のどこかで一時は他言語であったのであろうと、おもうばかりである。

*

さて、いま、漢字の音によって簡単にかたづけてしまったが、そうもゆきそうもないものもある。たとえば、日本で通常におこなわれる仏典は漢語訳であり、漢字ばかりで

この書にはおおくの情報がもりこまれているが、本稿のためには、歌詞の全体がのっていること、および、SPないしミニCDのジャケットの写真があることが、重要である。

さて、歌詞の一節を曲名にしているもののうちから、

ジャケットの曲名で、仮名あるいは漢字がめだち、

その曲名の部分が歌詞で他言語であることが明瞭である、

というものをえらぼう。第2の条件は、たとえばアルファベット表記の英語である。

結果は次のようである。ジャケットの仮名等の曲名、—— の後に歌詞をしめす。歌詞は、いくつかありうれば、/ をはさんであげる。適宜注記をくわえる。括弧内は、歌手、および1位獲得日付である。

マサチューセッツ —— Massachusetts

歌詞全文英語 (ザ・ビー・ジーズ, 1968年4月1日)

シー・シー・シー —— C-C-C-C (ザ・タイガース, 1968年7月22日)

サウンド・オブ・サイレンス —— The Sound of Silence

歌詞全文英語 (サイモンとガーファンクル, 1968年9月9日)

ウォンテッド (指名手配) —— Wanted wanted / Wanted!

(ピンク・レディー, 1977年9月19日)

セクシャルバイオレット NO1 —— Sexual Violet No. 1

(桑名正博, 1979年10月8日)

ダンシング・オールナイト —— Dancin' all night

(もんた&ブラザーズ, 1980年6月9日)

ラヴ・イズ・オーヴァー —— Love is over (欧陽菲菲, 1983年12月19日)

スキップ・ビート —— Skipped beat (Kuwata Band, 1986年8月18日)

他言語は英語ばかりであり、その表記もアルファベットである。これらのジャケットの曲名は、翻訳であるとかんがえることもできる。しかし、外来語のくみあわせとしては、「サウンド・オブ・サイレンス」「ラヴ・イズ・オーヴァー」などは、形がながすぎ、英語の知識が必要であるようにみえる。

曲名が翻訳であるとかんがえられるものに、次のようなものがある。

男の世界 —— the world of mandom

歌詞全文英語 (ジェリー・ウォレス, 1970年10月19日)

天国のキッス —— Kiss in blue heaven (松田聖子, 1983年5月16日)

恋におちて —— Fall in love (小林明子, 1985年10月28日)

サファイアの瞳 —— Sapphire Eyes (アルフィー, 1987年3月23日)

みで標題にすることは、テレビ番組

新・弁護士ペリー・メイスン —— Perry Mason

(1989-1993年, アメリカ, 原作アール・スタンレー・ガードナー,
主演レイモンド・バー。日本放映1996年, NHK 総合)

などでも同様であり, 映像作品にかぎらず, ルソー『エミール』など枚挙に遑がなく, 標題のうけかたについての欧米の伝統であるとみえる。日本では, この「ペリー・メイスン」のばあいのように人物紹介「弁護士」などを一言そえるほうが, おちつく。人名は, また, 地名などとともに, 翻訳しがたいものとして, 特別のあつかいを必要とする。

ロード・オブ・ザ・リング

—— The Lord of the Rings : The Fellowship of the Ring

(2001年, アメリカ, 原作ジョン・ロナルド・ロウエル・トールキン,
監督ピーター・ジャクソン, 主演イライジャ・ウッド。日本公開2002年)

ロード・オブ・ザ・リング 二つの塔

—— The Lord of the Rings : The Two Towers (2002年。日本公開2003年)

ロード・オブ・ザ・リング 王の帰還

—— The Lord of the Rings : The Return of The King

(2003年。日本公開2004年)

ゴッドファーザー&サン —— The Blues : Godfathers and Sons

(2003年, アメリカ, 監督マーク・レビンⅡ, 出演ココ・テイラーほか)

原語の標題冒頭の定冠詞 the は, 仮名表記にあらわれない。複数をあらわす形態素 -s も, 仮名表記にあらわれない。なお, 「ロード・オブ・ザ・リング」は, 小説の翻訳では標題が和語であった。

指輪物語 全9巻 (翻訳瀬田貞二・田中明子, 1977・1992年, 評論社文庫)

映像と小説とでこのように標題がこととなったのは, 媒体の癖のちがいのゆえとも, 時代のちがいのゆえとも, 両者がからみあったゆえとも, かんがえることができる。

*

Jポップの標題に, 他言語を仮名でしるした事例をみる。オリコンヒットチャート各週1位のシングルを, 25年余にわたってすべてならべた, 次による。500曲である。ここ10年くらいの様相をこれによってはしることができないが, おぎなわない。

ORICON No.1 HITS 500 オリコンチャート1位ヒットソング集

上1968~1985・下1986~1994 (1998年, クラブハウス)

5 ずっと、夢を見ている。 (2004年7月)

6 終わらない夢を、見ている。 (2004年10月)

7 繋ぐ、指先。 (2004年12月)

第1巻は前年の刊行であるが、その書名は英語の仮名表記とみてよいかとおもわれる。これをシリーズ名として、第2-7巻6点が2004年に出版された。第3巻以降をここにしめすにあたって、シリーズ名をはぶいて巻番号を先にまわしたが、書名は、すべて和語であり、句読点をもって、他言語使用の対極をゆくおもむきがある。

インザカット (スザンナ・ムーア、翻訳川副智子、2004年3月、ハヤカワ文庫)
これを原作とする映画が、2003年にアメリカで公開された。

IN THE CUT (監督・脚本ジェーン・カンピオン、
製作総指揮ニコール・キッドマン、主演メグ・ライアン)

日本では2004年4月に公開された。10月にDVDおよびビデオが発売され、その外装には仮名「インザカット」が併記されている。

数字にそえられた仮名の表現が、英語であるとかんがえられるものがある。

911 セプテンバーイレブンス (冷泉彰彦、2004年10月、小学館文庫)

ここでは、数字と仮名とは対等であるとみえる。しかし、これの元となっている単行本では、しるしかたがことなる。

9・11 セプテンバー・イレブンス あの日からアメリカ人の心はどう変わったか
(2002年3月、小学館)

数字「9・11」がおおきく、その中の空白、中点の下に、ちいさな仮名「セプテンバー・イレブンス」がうめこまれている。

*

他言語をそのまま仮名でしるすことは、海外の映画を広告するときに、標題についてしばしばおこなわれる。2004年に公開されていたものの標題から、二三、気がついたところをしるす。——の後は原題である。

フル・フロンタル — Full Frontal

(2002年、アメリカ、監督スティーヴン・ソダーバーグ、主演ジュリア・ロバーツ)
単語個個をとりあげてみると、外来語としてなじんでいるが、ふたつでもくみあわせられると、意味をとることができない。上の「イン・ザ・カット」も同様である。

ピニエロ — Pinero

(2001年、アメリカ、監督レオン・アイチャソ、主演ベンジャミン・ブラット)
このように主人公の名のみが標題になっていることが、めずらしくない。主人公の名の

アルファベットの標題は、冒頭を「ドットハック」とよむ。アニメ、コンピュータゲーム、その他、種類のメディアにわたって、ドットハック=プロジェクトというもの展開され、その一環として、この書は、ゲームをライトノベルにうつしている。

片仮名で表記されたものは、ほとんどは外来語である。しかし、外来語でなく、他言語であるとみられるものもある。

テイルズオブシンフォニア TALES OF SYMPHONIA 久遠くときの輝き 1-4

(矢島さら, 2004年1-7月, エンターブレイン・ファミ通文庫)

青翠くみどり)の器 (2004年8月)

やはりメディアミックスで「テイルズオブ……」の一群があって、その「シンフォニア」にもまたいくつかのシリーズがある。ここにあげたライトノベルは、ゲームからうつされたものであり、「青翠の器」は「久遠の輝き」の外伝である。アルファベットの英語は、文庫のカバーではちいさく商標のようにおかれている。ただし、たとえば次のシリーズでは、かえって仮名がアルファベットの振り仮名のよう配されている。

TALES OF SYMPHONIA テイルズオブシンフォニア シルヴァラント編

(結城聖, 2003年11月, 集英社スーパーダッシュ文庫)

テセアラ編 (2003年12月)

世界再生編 (2004年1月)

いずれにせよ、「テイルズオブシンフォニア」は、外来語というには形がややながい感がある。

アー・ユウ・ハッピー? (矢沢永吉, 2004年4月, 角川文庫)

成りあがり 矢沢永吉激論集 How to be BIG

(矢沢永吉, 新装版2004年4月, 角川文庫。初版1980年)

ひとつめは、英語の仮名表記と判断して問題がないであろう。この刊行にあわせて、著者は、ふたつめにあげたものを再刊した。そちらでは、アルファベット表記の英語が副題にそえられている。

ハイ! デイズナイト HI! DAY'S NIGHT (鈴木清剛, 2004年2月, 角川文庫)
これには、アルファベット表記がそえられている。

プリーズ・ミスター・ポリスマン! (竹内照菜, 2003年11月, 竹書房文庫)

恋に溺れて プリーズ・ミスター・ポリスマン! 2

(竹内照菜, 2004年2月, 竹書房文庫)

3 言葉に、ならない。 (2004年4月)

4 夢を、見ている。 (2004年6月)

新聞のテレビ欄などでは、このアポストロフをはぶいていた。

ただし、くだんの仮名表記は、NHKの発明ではなく、原作にすでにあったものである。原作は、月2回刊雑誌『ビッグコミックオリジナル』（小学館）1997年7月5日号から1998年12月20日号までにわたって17回掲載された。完結するとともに単行本となり、文化庁メディア芸術祭第3回（1999年度）マンガ部門大賞を受賞している。

I'm home [アイムホーム] 上・下

（小学館，ビッグコミックススペシャル。1998年）

しかし、この標題では、テレビドラマとは逆にアルファベット表記のほうが主であり、仮名表記は、括弧でつまれたうえに、振り仮名のようにちいさくそえられているにすぎない。

この「アイムホーム」の原作およびテレビドラマについては、インターネット上の百科事典『ウィキペディア』（<http://ja.wikipedia.org/wiki/>）の「アイムホーム」の項目が、まとまっていくわしく、しかも記事はなお増補されつつある。

3

他言語を仮名で表記した事例を、いくつかの領域でみてみたい。前稿では領域をひろげなかったので、アルファベット表記についてもここで参考としてふれる。しかし、ここでも、領域をおおきくひろげることはひかえる。

*

書名をとりあげる。いわゆる文庫の、本体がほとんど文字によっているものについて、すなわちコミックをのぞいて、標題をみる。文庫は、2004年には、出版各社をあわせて毎月500点前後、年間6000点にのぼるまでにひろまっていて、この1年間のものから数点をとりあげる。その標題を主としてカバーでみることとし、カバーでみるのは、扉や奥書のものよりも、文字・表現の関係がゆたかであるからである。しかし、カバーはかえられることもあり、過去あるいは将来のものでは、ここにしるすことがなりたたないかもしれない。図書館では、カバーがはずしてすてられ、ここにしるすことが今でも確認されず、問題をのこす。また、一般に、文庫版は底本に2年以上はおくれて出版されるが、その点はかえりみない。

標題を他言語によってアルファベットでしるした書名も、もとよりある。

.hack//ANOTHER BIRTH もうひとつの誕生 Vol.1 感染拡大

（川崎美羽，2004年3月，角川スニーカー文庫）

Vol.2 悪性変異

（2004年9月）

日本語に伏在する他言語

石井久雄

1

本稿でとりあげるのは、前稿「日本語に並存・混在する他言語」(本誌前号 pp. 482-473) をひきつぎ、日本語のなかの他言語である。借用語・外来語ではない。ただし、前稿のものが、アルファベットなどでしるされてあきらかに日本語でないとしられたのに対して、本稿のものは、日本語とみわけがつかない。日本語であり、外来語であるといわれれば、ほとんど反論することができない。しかし、問題にしてよい事例があることは、本稿によってみとめられるであろう。

前稿と同様に、かきしるされたものをあつかう。そこで日本語とみわけがつかないというのは、つまり、仮名あるいは漢字で表記されているということである。

2

他言語を仮名で表記したものとして、最近、テレビドラマの名に、特異なものがみられた。アルファベットは、副題のように配置されている。

アイムホーム I'm home 遙かなる家路

(NHK 総合テレビ, 2004年11月15日から12月16日まで月-木曜に20回放送,
コミック原作石坂啓, 脚本浅野妙子, 制作 NHK 大阪, 主演時任三郎)

英語を、発音とともに綴りにももつづいて仮名でしるして、「アイムホーム」ということになったのであろう。仮名によって表記してありはしても、私は帰宅しているという全体の意味も、それを表現している文法・語法も、まさに、そえられているアルファベット表記英語のものである。日本で外来語をくみあわてつくることができるようなものとは、水準を異にする。

仮名のうちにアポストロフを混在させた表記は、特異である。日本語を表記する文字・符号のひとつとしてアポストロフをふくめるような見解は、おそらくいまだあらわれていない。仮名と並存するアポストロフのデザインもさだまっていないからであろう、